

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	7008	(H.26)No.	7008
-----------	------	-----------	------

事務事業名	公共下水道事業特別会計		
担当部局名	担当室名	室長名	
上下水道部	経営総務室	飯田 玲子	

会計区分	事業コード	007008
公共下水道事業特別会計	(中事業名)※予算書事業名	
款		
項	(小事業名)	
目		

1. 事務事業の位置付け

総合計画	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
基本政策	3	快適な生活環境づくり
施策	1	下水道等
小施策	1	公共下水道の整備
重点施策コード		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
公共下水道、戸別浄化槽の整備により、市民の快適な生活環境の創造と公共水域の水質保全を目的としています。
事業内容
中央処理区及び南部処理区を合わせた公共下水道事業の普及促進に取り組んでいきます。 ・名張地区の面整備、住宅団地接続移管及び詳細設計 ・接続移管した住宅団地の管路施設老朽化に対し、長寿命化対策を含めた改築事業実施 ・戸別浄化槽の整備推進 ・安定した施設の維持管理(南部処理区の公共管理を含む)

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	◎建設費 <H25繰越分 553,225千円>面整備工事<H26現年分 362,909千円>・処理場増設実施設計、管渠詳細設計、面整備、接続幹線管渠工事、管路施設の長寿命化対策事業、他 <H27への繰越601,171千円> ◎施設管理費446,265千円・中央浄化センター施設管理、管渠修繕、南部住宅地汚水処理施設管理等 ◎総務管理費 27,591千円・システム使用料、料金徴収業務負担金等◎戸別浄化槽整備費14,863千円◎戸別浄化槽施設管理費6,268千円◎積立金1,377千円◎公債費405,359千円	◎建設費1,424,310千円 ・全体計画策定、管渠詳細設計、TV検査、工事施工管理、処理場施設増設、面整備、接続幹線工事、長寿命化対策、他 ◎施設管理費599,596千円 中央浄化センター施設管理、管渠修繕、南部住宅地汚水処理施設管理、等 ◎総務管理費72,395千円 システム使用料、料金徴収業務負担金等 ◎戸別浄化槽整備費29,050千円 ◎戸別浄化槽施設管理費10,750千円◎積立金4,323千円 ◎公債費430,223千円◎操出金68,600千円◎予備費10,000千円

H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
・中央処理区面整備、住宅団地接続移管 ・管路施設老朽化対策事業 ・戸別浄化槽事業 ・施設管理、管渠修繕工事等	・中央処理区面整備、住宅団地接続移管 ・管路施設老朽化対策事業 ・戸別浄化槽事業 ・施設管理、管渠修繕工事等	・中央処理区面整備、住宅団地接続移管 ・管路施設老朽化対策事業 ・戸別浄化槽事業 ・施設管理、管渠修繕工事等

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	(553,225千円) 1,264,632千円	2,649,247千円	2,925,659千円	3,653,103千円	4,785,636千円
内訳(千円)					
国・県支出金	(246,001) 154,337	481,699	854,951	1,184,223	1,731,573
地方債	(247,100) 276,700	994,300	851,200	1,145,100	1,630,500
その他(使用料等)	(60,124) 396,440	1,032,734	818,406	828,525	865,850
一般財源	(0) 437,155	140,514	401,102	495,255	557,713
人工数					
職員		19.00人	19.00人	19.00人	19.00人
臨時職員等		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円) 165,427千円	152,553千円	142,500千円	142,500千円	142,500千円
①+②総事業費	(553,225千円) 1,430,059千円	2,801,800千円	3,068,159千円	3,795,603千円	4,928,136千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
公共下水道第2期事業実施に係る整備区域の766haについては、平成30年度を目途とする事業期間の整備完了を目指し、引き続き既成市街地での公共下水道の普及拡大を図りました。また、富貴ヶ丘1期地区の民間汚水処理施設の接続移管に向けた下水管路の整備を促進しました。 移管済み住宅地の管路施設の老朽化に伴う修繕や、南部処理区住宅地の百合が丘、春日丘及び南百合が丘汚水処理施設の公共管理を開始したことにより、維持管理費が増加しました。	第2期事業変更認可に係る事業延伸の取得に基づき、引き続き名張地区市街地の面整備や大規模住宅団地の接続移管、及び接続した住宅団地の老朽化した管路施設に対し、計画的に長寿命化対策を含めた改築事業を実施すると共に、中山間地域では戸別浄化槽の事業実施に引き続き取り組めます。 また、勸奨等加入促進により接続率の向上に努めます。 なお、既存施設については処理機器の適正な定期点検に努め、安定した施設の維持管理に努めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	健康で快適な生活環境を形成するとともに、公共水域の水質汚濁を防止し、豊かな自然環境を保全するため、下水道の普及促進に取り組んでいます。中央処理区の整備区域面積560ha、整備人口21,395人、普及率26.5%、面整備率73.1%に達しました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
・建設事業については、「社会資本整備総合交付金」(水の安全・安心基盤整備)に係る5か年の整備計画に基づき、事業実施をしていきます。 ・維持管理については、更なる外部委託化について研究していきます。

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
名張市下水道整備マスタープラン 名張市公共下水道全体計画